

髄膜炎菌ワクチンの説明書

商品名:メンクアッドフィ

■髄膜炎菌感染症について

髄膜炎菌は侵襲性髄膜炎菌感染症(IMD)という致死性の感染症を起こします。50%は突然の発熱や頭痛、頸部硬直といった髄膜炎で、20%は敗血症で発症します。死亡率は10%です。2011年には宮崎県の高校生が早朝の頭痛で入院となり、夕方に死亡した例があります。

■流行地域

- ・アフリカ大陸サハラ以南の”髄膜炎ベルト”やメッカ巡礼者の間で発生率が高く、サウジアラビアでは巡礼入国のためにワクチン接種が必須です。
- ・米国では高校入学や大学生が入寮する際に、ワクチン接種が推奨されています。
- ・米国に留学する場合は、接種を要求される可能性があります。

■感染経路

くしゃみや咳など飛沫感染でヒトからヒトに感染します。

■診断と治療

- ・早期の診断と治療開始が重要です。髄液や血液から髄膜炎菌を検出して診断します。
- ・致死性の疾患であり、可能な限り早期に抗菌薬を開始します。

■予防方法

ワクチンを接種する。

■ワクチン接種対象者

- ・アフリカや中近東への渡航、特に乾期に現地住民と長期間接触する可能性のある人。
- ・海外留学や海外赴任する予定で、多国籍の人と接する機会が増える人。

■ワクチンについて

- ・髄膜炎菌ワクチンは国内ワクチンです。血清型A,C,Y及びW-135に予防効果があります。
- ・血清型Bに起因する侵襲性髄膜炎菌感染症に対して予防効果はありません。
- ・メンクアッドフィについて、エクリズマブ(商品名:ソリリス)、ラブリズマブ(商品名:ユルトミリス)、スチムリマブ(商品名:エジャイモ)を使用される患者さんは保険給付の対象です。

	メンクアッドフィ
【製造会社】	Sanofi Pasteur
【適応年齢】	2歳以上
【接種回数】	1回接種。
【接種方法】	筋肉注射。
【持続期間】	10年間。
【追加接種】	リスクが続けば5年毎。

■副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■注意事項

過去に同ワクチンにアレルギーのある方、妊娠・授乳中、発熱している方は接種できません。

■健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。